

土岐市西部こども園 自己評価票（令和7年度）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	コメント
①園の保育方針を理解している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園の方針が職員に浸透し、それに基づいて各学年の目標が立てられていた。また、保育に関する改善工夫もあった。
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	A	
③担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A	
④各年齢の発達段階合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	A	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	A	

2. 保育の内容

内容	評価	コメント
①保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の園児を大切にすることが意識できていた。思いを受け止めようとする姿が各所に見られた。
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	A	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④身体的、精神的、情緒的発達等、多面的に子どもの状態を把握している。	A	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	A	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. 園の組織・役割分担

内容	評価	コメント
①職場内で連携がとれている（連携をとるように努めている）。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報伝達は確実に行われていた。 ・昨年と比較して、保育をよくするための提案が職員から出される機会が増えた。
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	A	
③職員間で「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」ができている。	A	
④職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	A	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	A	

内容	評価	コメント
⑥各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	・若い職員の意見が出やすい取り組みを考える必要を感じている。
⑦各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができる。	A	
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	A	

4. 家庭・地域社会

内容	評価	コメント
①保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	・他園や、関係機関と連携しているのが職員の一部に限られている。多くの職員が意識して取り組めるとよい。
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	A	
③保護者に子どもの伸びているところや課題を伝えるなど連携をとっている。	A	
④家庭との連携を図るように努めている。	A	
⑤家庭環境及び食事習慣等園以外での子どもの状態を把握している。	A	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	A	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	B	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	コメント
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	・個人情報の厳守については、職員会などで確認し、各自が意識できた。
②園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている。	A	
③金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	A	

6. 総評

- ・園児一人一人の人権を大切に、思いを受け止める保育を園全体で意識して進めることができた。
- ・園児への適切な言葉かけや働きかけについて研修を重ね、それを意識して保育にあたることができた。
- ・園のキャラクター「セイブマン」を利用して、教育目標を具体的に園児に浸透させた。
- ・園児一人一人に対する働きかけにぶれが生じないように、職員間で話し合い、共通意識をもって保育にあたった。
- ・園内公開保育を実施し、職員一人一人の保育力向上に努めた。